第2 法人税基本通達関係

昭和44年5月1日付直審(法)25「法人税基本通達の制定について」(法令解釈通達)のうち次の「改正前」欄に掲げるものをそれぞれ「改正後」欄のように改める。

一目次

改正後	改正前
第12章の4 連結法人間取引の損益調整	第12章の4 連結法人間取引の損益調整
第1節 通 則	第1節 通 則
第2節 <u>分割等前事業年度等</u> における譲渡損益調整資産に係る譲渡損益額の	第2節 <u>分割前事業年度等</u> における譲渡損益調整資産に係る譲渡損益額の調
調整	整
第3節 <u>分割等前事業年度等</u> における譲渡損益調整額の戻入れ	第3節 <u>分割前事業年度等</u> における譲渡損益調整額の戻入れ

二事業年度

改	正	後	改	正	前
(解散、継続、合併又は分割 1-2-3 法第14条第1号 の日」又は <u>第20号</u> の「継続	号、第10号及び第14号	《みなし事業年度》の「解散	(解散、継続、合併又は分割 1-2-3 法第14条第1号 の日」又は <u>第19号</u> の「継続	号、第10号及び第14号	· 《みなし事業年度》の「解散
	•				
	号及び第12号の <u>「分割</u> 型	型分割の日」とは、		号及び第12号の <u>「分割</u>	<u> の日」</u> とは、

三 利益積立金額

改	正	後		改	Œ	前	
(連結子法人株式の帳簿価額修正の)	順序)_		(新 設)				
1-6-4 令第9条の2第1項各	号《利益積立会	詮額の増加・減少が生ずる事					
<u>由》に掲げる事由が生じたことに</u>	伴い2以上の選	連結法人がその有する連結法					
人株式につき、同条第2項に規定	する連結法人材	株式の帳簿価額修正額の計算					
を行うこととなる場合には、これ	らの連結法人の	Dうち、連結親法人から連鎖					
する資本関係が最も下位であるもの	のについてこれ	1を行い、順次、その上位の					
ものについてこれを行うことに留意	<u> 意する。</u>						

四 受取配当等の金額

改正	後		改	Œ	前	
(短期所有株式等に該当するかどうかの判定)		(新 設)				
3-1-5の2 法第23条第3項《短期所有株式等						
の不適用》に規定する「内国法人が期間の	<u> </u>					
かつ、当該株式等又は当該株式等と銘柄を同じ						
内に譲渡した場合」には、例えば、配当等の額						
る。)がその配当等の額の元本である株式等をその						
内に取得した事実及び当該株式等と銘柄を同じ 内に譲渡した事実はないものの当該法人と連結:						
のいずれかが当該銘柄を同じくする株式等をその						

改	正	後	改	正	前
内に取得し、かつ、当該連絡を同日後2月以内に譲渡した。		当該銘柄を同じくする株式等 こに留意する。			

五 分割前事業年度に係る欠損金

改	Œ	後	改	正	前
	年度の中途で分割型 <u>法第57条第 6</u> I	分割を行った法人が、その <u>分</u> 夏《連結法人の分割前事業年 前日の属する事業年度		業年度の中途で分割型 … <u>法第57条第7項</u> 《連	分割を行った法人が、その <u>分</u> 結法人の分割前事業年度の欠 事業年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

六 連結納税の開始等に伴う資産の時価評価損益

改正後	改正前
(連結納税への再加入時の時価評価の要否) 12の3-2-4 ···································	(連結納税への再加入時の時価評価の要否) 12の3-2-4 ···································
ただし、当該法人が同項第5号に掲げる法人に該当する場合には、この限 りでない。	

七 連結法人間取引の損益調整

改正後	改正前
(譲渡損益調整額の計算における「対価の額」の意義) 12の4-1-1 法第61条の13第1項《分割等前事業年度等に おける連結法人間取引の損益の調整》 (注)	(譲渡損益調整額の計算における「対価の額」の意義) 12の4-1-1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(譲渡損益調整額の計算における「原価の額」の意義) 12の4-1-2 法第61条の13第1項《分割等前事業年度等における連結法人 間取引の損益の調整》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(譲渡損益調整額の計算における「原価の額」の意義) 12の4-1-2 法第61条の13第1項 <u>《分割前事業年度等における連結法人間</u> 取引の損益の調整》

八 分割等前事業年度等における譲渡損益調整資産に係る譲渡損益額の調整

改正後	改正前
第 2 節 <u>分割等前事業年度等</u> における譲渡損益調整資産に係 る譲渡損益額の調整	第 2 節 <u>分割前事業年度等</u> における譲渡損益調整資産に係る 譲渡損益額の調整
(連結法人間取引の損益の調整を行わない取引) 12の4-2-1 法人が法第61条の13第1項 <u>《分割等前事業年度等における連結法人間取引の損益の調整》</u> (1) (2) (2)	(連結法人間取引の損益の調整を行わない取引) 12の4-2-1 法人が法第61条の13第1項《分割前事業年度等における連結 法人間取引の損益の調整》 (1)

	改	Œ	後	改正前
計 12	算) の 4 - 2 - 2 ··········		した場合の譲渡損益調整額 事業年度等における連結法	計算) 12の4-2-2 ··································
	間取引の損益の調整》… (1)			<u>取引の損益の調整》</u> (1)(2)(2)(2)(1)(2)(
	(3)(4)(5)			(3) ····································
	(6)			(6)
	(10) (11) (12) (12)			(10) ····································
九	分割等前事業年度等に	こおける譲渡損益調整	額の戻入れ	<u> </u>

改	正	後		改	正	前	
第 3 節 分割	<u>割等前事業年度等</u> における	譲渡損益調整額の戻入れ	第3節	分割前事業年度等	<u>テ</u> における譲	渡損益調整額の戻入れ	

(譲渡損益調整額の戻入れ事由)	(譲渡損益調整額の戻入れ事由)
12の4-3-1 令第122条の14第3項第1号 <u>《分割等前事業年度等におけ</u>	12の4-3-1 令第122条の14第3項第1号《分割前事業年度等における
る連結法人間取引の損益の調整》	連結法人間取引の損益の調整》
(1)	(1)
(2)	(2)
(3)	(3)
(注)	(注)
1	1
2	2
(1)	(1)
(2)	(2)
(契約の解除等があった場合の譲渡損益調整額)	(契約の解除等があった場合の譲渡損益調整額)
12004 - 3 - 2	12 <i>o</i> 4 - 3 - 2 ·······························
(1)	(1)
(2)	(2)
1	۲
П	
(3)	(3)
(注)	(注)
以下 <u>この節</u> において同じ。	以下 <u>12の4 — 3 — 3</u> において同じ。
(有価証券の評価損を計上した場合の譲渡損益調整額の戻入れ計算)12の4-3-7 令第122条の14第4項《譲渡損益調整額の戻入れ計算》の	(新 設)
規定の適用に当たり、同項第4号に規定する譲渡損益調整資産が有価証券で	

ある場合には、当該有価証券に係る譲渡損益調整額のうち同項の規定により 益金の額又は損金の額に算入する金額は、次の算式により計算した金額とす

	改	正	後	i	改	正	前
	証券に係る す。 × — 損益調整額 当i す。	該有価証券及び当該有値 る有価証券の評価損の打 該有価証券及び当該有値 該有価証券のその評価打 面額	<u>量金算入額</u> 				
<u>12</u> <i>⊙</i> 4 − 3	<u> 8</u> ······	算における簡便法の選抜 <u>8</u>	尺適用)	<u>1204 - 3 - 7</u>	額の戻入れ計算にお <u>12の4 - 3 - 7</u>		_)
渡損益調整	適用した連結法人 [;] 額の戻入れ計算) <u>– 9</u>		適格合併等をした場合の譲	渡損益調整額の		併法人等とする適格合 	併等をした場合の譲
<u>12の4-3</u>	<u>-10</u> ·····	数を短縮した場合の簡値 <u>- 10</u>	更法による戻入れ計算)	<u>12の4-3-9</u>	資産の耐用年数を短 <u>12の4-3-9</u>		よる戻入れ計算)

十 外国税額の控除

改	正	後	改正前
(高率負担部分の判定をするの取扱い) 16-3-25法第61条の 間取引の損益の調整》)13第 1 項 <u>《分割等前</u> ョ		(高率負担部分の判定をする場合の総収入金額の計算における譲渡損益調整額の取扱い) 16-3-25